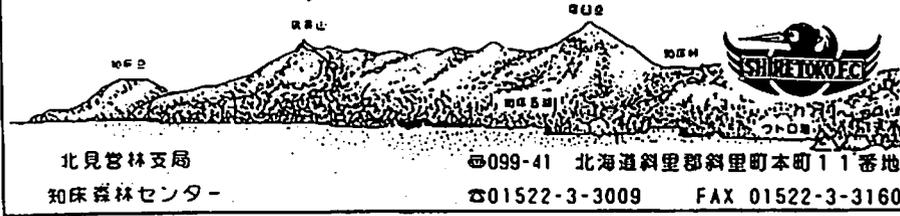


# 知床の森から



## 新緑・トレック・リフレッシュ！

UNCED（国連環境開発会議）開催記念

『森林レク・新緑の知床探訪』

6月10・11日の両日、ブラジルで開催中の（国連環境開発会議）を記念して森林レクを知床自然観察教育林を舞台に実施しました。連日の悪天候もこの両日だけ好天となり、萌え始めた初々しい森林の中を爽やかな陽気の中で実施することができました。

参加者は、地元斜里町をはじめ遠くは紋別市からの参加もあり総勢58名となりました。

今年は二週間ほど開催時期を早めたせいで、森林は新芽・若葉がみずみずしく、コースにはヒトリシズカ・ギンリョウソウ・スミレが可憐に咲き、コンロンソウ・フデリンドウ・クマバソウの群れ咲きも豪華でしばし足を止めて見入る光景もありました。丘巻は水を温めたボンホロ沼で、水面にラウス岳やまわりの森林を見事に映し、エゾアカガエルのオタマジャクシとエゾサンショウウオの幼生の横息が見られ、皆んな熱心にのぞきこんでいました。霧の滝も水量が豊富で、清流を覆う樹冠の上空では渡来間もないツバメ達が飛び交っていました。

参加者の皆さんは、新緑の知床で自然の息吹きを十分満喫したようでした。

森林レクリエーション・in知床  
〔知床の森林ウォッチング〕



**\*知床の森林の樹木カードを販売しています\***  
知床森林センターで作成した樹木カードは好評で、ぜひ欲しいという要望に応じて販売することになりました。消費税込みで一冊千円です。下記の場所で扱っておりますのでご希望の方はお申し込み下さい。

取扱い先 北見宮林支局計画課 知床森林センター  
(☎0157-24-7231・内304) (☎01522-3-3009)

## 生き残りをかけて

ここはボンホロ沼である。冬期間に積もった雪の、雪解け水が退るだけの沼である。日差しの強まる6月下旬にはすっかり消える運命にある。こんな寿命の短い沼の中に、いま精一杯生を育てている生物がいた。エゾアカガエルとエゾサンショウウオの幼生である。

5月上旬水が退り始めた頃、産みつけられた卵は今やとオタマジャクシになり、エゾサンショウウオも幼生になったところである。沼に退る水は5月下旬にピークとなるが、6月に入り日差しが早まると沼の干上がる速度は早まり、日々水面が狭まって行く。

これからオタマジャクシ・サンショウウオの幼生達の苦難が始まる。水面の後退と、生き残りかけた競争になる。しかし無残にも沼の水の干上がり早いと、オタマジャクシ・サンショウウオの幼生達も力尽き土に返っていく。そして再び来年同じことが繰り返されるのである。

## ~~~~~【トピックス】~~~~~

※ 本州の林業人一行来所

6月21日、山梨県内の森林組合の一行10名が、北海道広葉樹の天然林を見たいとここ知床を訪れました。

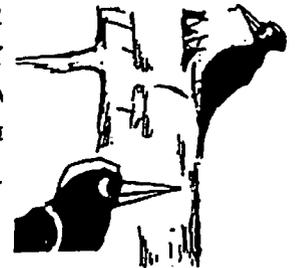
知床横断道路沿いに展開する冷温帯針広混交林の様子と、海拔高0~700mとわずかな標高差の中に、広葉樹林から針葉樹の多い混交林へ、そしてダケカンバ林帯・ハイマツ帯へと次々に変化する様子に、ここ知床の気象条件の厳しさを感じてもらえたようです。

また、車を降りてミスナラの大径木やトドマツ等が生い茂り、樹冠にさえぎられて陽の差さない静寂さがただよう林内に入り、知床の原生的自然を満喫したようです。

◎ クマゲラ営巣せず！

昨年営巣が見られた知床野営場内のクマゲラの巣木に、今年は営巣が見られなかった。

クマゲラは多くの鳥獣と同じように、自分の生活エリアを持つといわれており、今年も場内の巣木を見限ったとはいえ、鳴き声やドラミングを野営場で聞いている人もいることなどから、この野営場から東に続く深い森のどこかに棲みついで、子育てに専念していることだろう。



今、センターは地域と密着した活動を、そして、森林の大切さ、また森林で遊ぶことの楽しさを知ってもらうには、もっと小学生の参加を呼びかけねばとの思いから、本年度から、ここ斜里町周辺の森林を舞台にした行事を考えていくことにしました。

子供達が楽しく、参加してもらえるような森林教室にすべく、コースと内容を検討しているところです。